



建交労

2017年9月6日 No.1
全日本建設交運一般労働組合 中央本部

2017年秋年末闘争・拡大月間推進ニュース

第19回定期大会開催、新年度方針を決定! 組織を強化し、改憲阻止・経済闘争を推進しよう

建交労は、9月2日(土)～4日(月)の日程で、第19回定期大会を開催しました。主催者あいさつを行った角田季代子中央執行委員長は「この間私たちは、暴走続ける安倍政権に対し、「戦争法」・「共謀罪」廃止、民主主義・立憲主義回復などを求めるたたかいに立ち上がり、野党共闘を前進させ、2016年の参議院選挙・新潟知事選挙での統一候補の勝利、今年7月の東京都議会選挙では、自民党の歴史的惨敗という審判を下し、直近の仙台市長選挙でも勝利しました。今後は「安倍改憲NO! 全国市民アクション」の行動開始と共に、『全国統一署名3000万人』が提起されます。建交労でも総がかり実行委員会に



角田季代子中央執行委員長

結集し、全組織が署名の集約を推進し、改憲阻止の運動を各地で広げましょう。また、昨年大会で決定した「中期4か年計画」の肝は、『みんなで討議 みんなで決定 みんなで実践』の実践です。要求闘争の前進・実利獲得・組織拡大も、各級組織が行動にかかっています。今後1年間の運動方針を豊かにし、建交労の総団結をはかる場として大会を成功させましょう。」と参加者に呼びかけました。来賓の野村幸裕全労連副議長は、「全労連は7月の第55回評議員会で、『安倍改憲阻止、労働法制改悪阻止、組織拡大』の3つの



とりくみを重点課題に掲げました。建交労が大いに奮闘することを期待します。」を話しました。また、日本共産党・本村伸子衆議院議員が激励に駆けつけ、「改憲を進め、働く権利・ルールを壊す、安倍政権を倒す為、野党共闘のさらなる発展が求められています。建交労の力を発揮していただきたい。」と力強く訴えました。

大会初日の廣瀬書記長による2017年度運動方針案等にもとづき、1日目～2日目特別報告7人、2日目～3日目の討論65人「計72人」が発言しました。運動方針は各地の豊かなとりくみによって補強され、最終日に全ての方針を全会一致で採択しました。

* 定期大会の詳細については建交労雑誌版10月号に掲載されます。